

# 北九州市民の会ニュース

## あの日から6年 平和ネットが集会

2015年9月19日、安保法制（戦争法）が自公によって強行採決されたあの日から6年。忘れることの出来ない9月19日、「平和をあきらめない北九州ネット」は、小倉駅と黒崎駅の広場で、「市民と野党の共闘で、自公政権に代わる新しい政治をつくろう！」と訴えました。

### 黒崎



### 小倉



### 小倉駅広場

小倉駅前広場の集会には80名が参加。田村貴昭さんが挨拶し、城井崇さんがメッセージを寄せられました。田村貴昭さんは、総選挙にのぞむ市民と4野党の共通政策を紹介。「安保法制廃止、核兵器禁止条約の批准、辺野古基地建設中止、コロナ禍の人と企業の救援、消費税減税、原発のない脱炭素社会、選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法の制定、権力私物化の真相究明など政権交代で実現する。こんなに素晴らしいことはない。立憲主義、民主主義、平和主義の快復へ、力を合わせましょう。」とアピールしました。

### 黒崎駅広場

黒崎駅前広場の集会には50名が参加。緒方林太郎さんと仁比聡平さんが挨拶しました。

仁比さんのFBより：【あの日から6年】安倍政権による安保法制強行採決から6年目。まさにその安倍・菅政治の衰れで愚かな末路がさらけ出され、いよいよ衆院総選挙が目前に迫るなかでの決意の日。久しぶりに緒方林太郎前衆議院議員と。（まじま省三前衆議は大分の演説会で間に合わず、その分私がかんばりました（笑））

緒方さんの熱のこもった挨拶もご自身のFBに掲載されています。ぜひご覧になってください。

### 市民の会「企画運営委員会」開催

9月21日、幹事会を準備するための企画運営委員会が開催されました。主な検討項目と決定事項は、以下の3点です。

①9月4日(土)午前、小倉リーセントホテルで行った「区域区分見直し」に関する意見交換会は有意義であった。「区域区分見直し」問題と資料の説明が明快で認識を共有できた。各区からの報告と意見交流も活発で問題点を共有できた。今後、各区で学習会等を組織し、各区民の会の取り組みを中軸にする。

②「女性の会」として、コロナ禍のもとで、市民アンケートをとり、市民要求・政策化をして市長選につなげていくことの要請があり承認した。アンケート期間(11月~3月)、市民の会HPからアンケートに回答できるようにする。

③幹事会は10月9日(土)14時から、ウエルとばた8F会議室で開催する。4日の企画運営委員会で人事案(代表委員、幹事会、企画運営委員会、事務局)、決算・予算案を検討した。幹事会議案は次回事務局会議(10月6日)で検討し作成する。



議案を採決する北九州地区労連定期大会

## 第33回定期大会 北九州地区労連

9月19日、北九州地区労連は、第33回定期大会を開催。大会は、新屋敷副議長の開会挨拶、永富議長による主催者挨拶、大会に寄せられたメッセージ20通の紹介をし、議事に入りました。2020年経過報告、2020年収支報告、会計監査報告、2021年運動方針(案)、2021年秋期闘争方針(案)、2021年予算(案)、規約・規定の改正について永吉事務局長・堀田副議長が提案。議案についての質疑討論は、8人の代議員が行い、議案は満場一致で採択されました。

北九州地区労連新体制は、議長に永富、副議長に安達・安藤・永吉・道下・新屋敷、事務局長に堀田、事務局次長に今泉、幹事10人と合わせ18人体制となりました。大会スローガン・大会宣言を満場の拍手で確認、厳しい状況での開催でしたが無事成功裏に終わることが出来ました。

## 第18回総会 9条の会・北九州憲法ネット



講演する石川捷治氏

9月18日(土)、「9条の会・北九州憲法ネット」の総会と記念講演には、47名が参加、成功裏に終わりました。総会では、荒牧座長が開会挨拶、三輪副座長が活動経過・活動方針・役員人事・会計報告を一括提案し了承されました。

記念講演は、石川捷治氏(九州大学名誉教授)が「『半クーデター政権』崩壊と統一戦線の行方」と題して熱く語られました。講演内容は、①9.18は過去の歴史的問題ではない、②菅政権の崩壊をどうみるか、③安倍・菅政権は「半クーデター」政権である、④日本における新しい人民戦線運動、であった。

最後に、憲法が本当に生かされる政治にするためには、歴史的総選挙を頑張るときだと結ばれました。

## 北九社保協通信

報告・資料集 2021年9月号  
9月22日 事務局発行

### 総選挙でいのちとくらしを守る政権交代を!

#### 「生保110番」に8件の相談。10月23日はコロナ相談会

9月21日(火)に2ヶ月に1度の定例開催である「生活保護110番」を実施しました。電話相談が中心ですが、この日はチラシを見て「直接、相談がしたい」と2人が相談会場にいられました。そのうちの1人65歳男性は「昨年、体調を壊し雇止めして失業。高齢年金の遺や支給で何とか生活してきたがそれも無くなった。年金は月に7万円。生活保護の受給は可能ですか?」との相談。「今の状況は要保護状態なので直ぐにでも保護申請を」と勧めるも、「申請はしたいが扶養照会が気になる」とのこと。68歳になる姉と70歳の兄がいるが10年以上、連絡をとっていない。役所から連絡が行くとなると余計な心配をかける事になる」とためらっていたため、「高齢な親族や長年、音信不通の場合は考慮されるので安心して下さい。」と説明をしさらに「申請に行ったら断られたりした場合はすぐに連絡して下さい。力になりますから」と

伝えたと「わかりました。直ぐにでも役所に行ってみます」と言われ帰られました。生活に困窮しているが生活保護が受けられるのか?申請しても大丈夫なのか?と迷ったり悩んだりしている多くの方々に、相談会や社保協の存在を知って頂くことが重要とあらためて実感します。常日頃から悩んでいる方や困っている方を一人でも多く救えるよう、引き続き取り組んでいこうと思っています。



直線の相談に対応する高本弁護士と生保協の八尾氏

#### 「いのちまもる!緊急行動」に参加。

#### 医療・介護・社会保障の立て直しを市民へアピール!

9月5日(日)11時より全国一斉蜂起の提起を受け、この北九州でも地区労連を中心に北九社保協も呼びかけ団体として参加し、連帯の行動に取り組みました。緊急事態宣言下という事もあり参加人数も伸び、賛同した各団体や議員など集まった43名で感染対策を十分に



30分「インゲ」4を誇る北九社保協会長の高本弁護士(中央)

とりながら大判ポスターや垂れ幕によるスタンディング宣伝や署名活動など旺盛に取り組みました。リレートークでは在宅医、保健所職員から現場の実態や体制強化を訴えるメッセージが、医療現場及び病院運営の立場からコロナ禍での逼迫状況や病床確保の困難など切実な声があり、利用者を代表して75歳以上医療費2割化阻止を求める発言がありました。それをうけケアを大切にしたい立憲野党を代表し、日本共産党荒川区議が「北九州でも市民と野党の共闘を前進させ、総選挙ではいのちとくらしを守る政治へ転換させよう」と訴え、最後に今後の行動提起を確認し散会となりました。広く市民へアピールできた集会になったのではないかと考えています

## 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
Tel.093-592-5000 FAX093-571-4346  
http://siminnokai.sakura.ne.jp  
e-mail:koe@siminnokai.com

